

報告日 令和8年1月30日

報告回次 5日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	多賀城市			代表者名	深谷 晃祐
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	教育委員会事務局教育総務課	連絡先電話番号	022-368-5021
担当者役職	副主幹	担当者氏名	加藤 雄一	連絡先E-mail	
住所	985-8531 宮城県多賀城市中央二丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	教育情報基盤再構築事業		
概要	本市では、文部科学省の指針を踏まえ、校務系及び学習系ネットワークの統合による次世代の校務DX及びゼロトラスト化の実現を目指している。その実現に向けて、RFI（情報提供依頼）やRFP（提案依頼）等を実施することとしており、その内容について助言をいただきたい。				
支援を求める分野	ネットワークインフラ（Wi-Fi／LPWA／光ネットワーク） 教育情報化／情報教育				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	804	令和8年1月28日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月27日	支援・助言(オンライン)	14時00分	15時30分	
				活動時間（分）	90

2-2.

派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	谷 正友
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	現在作成中である「教育情報基盤再構築計画書」について、専門的知見から助言をいただいたことにより、計画書の解像度が上がり、より具体的な内容となりました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	6人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	3	0	3	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	RFIやRFPを実施する際、提案内容の正確な理解と金額の妥当性判断が必要です。しかし、当課にはICTの専門知識を持つ職員がおらず、また、行政と学校のネットワークが独立しているため、市のICT担当部署職員でも提案内容を十分に検証することが困難な状況です。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	RFIをの結果を踏まえ、次年度に実施するRFPの資料（ネットワーク環境構築、システム導入等）が作成されます。また、教育情報セキュリティポリシーが策定されます。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)		現在作成中である「教育情報基盤再構築計画書」について、専門的知見から記載内容について、助言をいただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)		助言を受け、計画書の内容がブラッシュアップされ、分かりやすく充実した内容となりました。	
具体的な成果物		最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今回のアドバイザーからの助言を受けて、委託支援者が「教育情報基盤再構築計画書」の内容を修正し、次回の会議で完成することを目指しています。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		特にありません。	
アンケートの内容と分析結果		講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 特にありません。	
4－3. 今後の計画		最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4－4. 事業の最終的な目指す姿		新しいICT環境の構築により、本市教育のさらなる充実を目指します。 ・児童・生徒：I C Tを活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させます。 ・教職員：業務負担を軽減し、児童・生徒と向き合う時間を確保することで、教育の質を高めます。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可			
掲載許可		☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください			
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子			
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。			
			